

7イニング制 球児の声を聞いて

大学生 高橋 勇葵^{ゆうき}

(愛知県 18)

私は野球部に所属している大学1年生です。高校野球の公式戦で、7イニング(回)制の導入が検討されていますが、私は現在の9イニングから減ることに反対です。

高校でも野球部で、何十試合も経験しました。8、9イニング目に得点や逆転することが何度もあるなど、高校野球の醍醐味^{どきどき}が詰まっているのです。また、イニング数が減ると、代打や代走、継投を任される選手の出場機会も減ってしまいます。今回の改革の背景には熱中症対策やケガ予防があるようですが、私た

ちは9イニングを戦いきれるように必死に練習し、体のケアもしっかりしています。心身ともにきつくなる最後の2イニングのために練習しているといっても過言ではありません。

イニングを減らす代わりにベンチ入りの人数を増やせば、選手の体調不良やケガのリスクが減り、チームワークを生かした試合も増えるのではと思います。日本高校野球連盟が加盟校やファンに対して行った調査結果でも反対の声が多かったと聞きます。当事者である球児たちの声にも、もっと耳を傾けてほしいと思います。高校野球を愛し、応援する学生からの心からのお願いです。

2026年5月29日(金)『朝日新聞』「声」より

※朝日新聞社の承諾を得て掲載しています(承諾番号 26-2098)

※朝日新聞社に無断で転載することを禁じます